

# 【概要版】北空知広域水道企業団 経営戦略

## 1. 改定の経緯

当企業団では、構成市町管内の住民生活に不可欠なライフラインである水道について、将来にわたり時代や環境の変化に対応しつつ、合理的な対価のもと安定的かつ持続的に供給することを目的として、令和2年度に「北空知広域水道企業団経営戦略」を策定し、中・長期的な視点に立った経営に取り組んでいます。

本経営戦略は、財政計画における料金算定期間と同じ10年間（令和8年度～令和17年度）を計画期間とし、料金改定の検討を行う5か年毎に見直しを行うこととしているため、その考え方に基き改定を行います。

## 2. 水道事業の現況

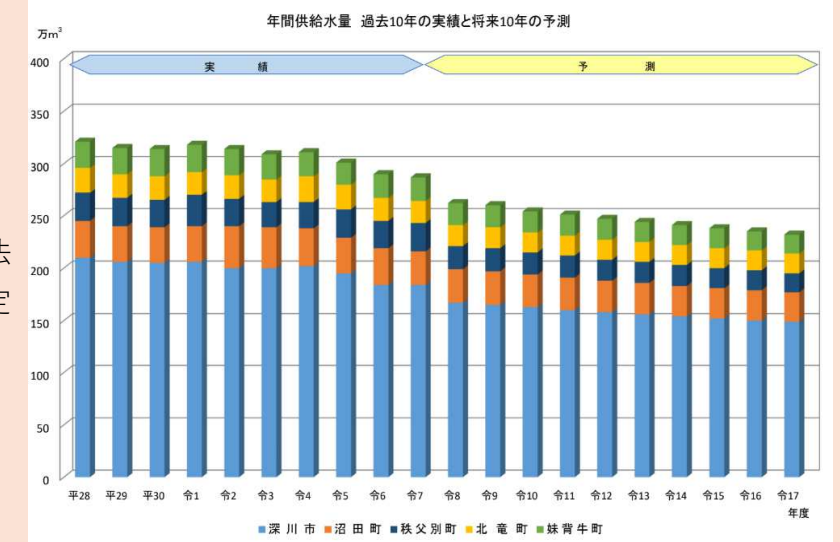
◎主な改定項目

- (1) 給水人口 令和6年度末25,951人  
(令和元年度末28,833人 ▲2,882人 ▲10.0%)
- (2) 施設利用率 令和6年度末施設利用率36.04%  
(令和元年度末39.51% ▲3.47%)
- (3) 供給料金 供給料金の改正の反映
- (4) 水利権 項目の追加
- (5) 職員構成 職員採用状況の反映

## 3. 将来の事業環境

◎主な改定項目

- (1) 水需要予測 令和6年度末日平均給水量7,928m<sup>3</sup>/日（令和元年度末8,693m<sup>3</sup>/日 ▲765m<sup>3</sup>/日 ▲8.8%）  
令和17年度末予測値平均給水量6,335m<sup>3</sup>/日（対令和6年度末 ▲1,593m<sup>3</sup>/日 ▲20.1%）
- (2) 料金収入の見直し 令和8年度から料金単価の引き上げ改定を行います。  
基本料金19.91→11.58円/m<sup>3</sup>（▲8.33円/m<sup>3</sup>） 使用料金74.45→111.59円/m<sup>3</sup>（+37.14円/m<sup>3</sup>）
- (3) 施設の見直し 給水人口及び供給水量の減少を踏まえ、浄水場の更新にあたっては、施設規模や設備容量の適正化、運用方法の見直し等によりトータルコストの抑制を図るとともに、更新にあわせた耐震化対策を進め、災害に強く安定した用水供給の確保に努めます。
- (4) 組織の見直し 職員の採用を適切な時期に行い、年齢構成を整えることによって組織の活性化を図ります。
- (5) 整備計画 整備計画内容について各種計画に基づき対策を進めていきます。
- (6) 耐震化達成目標 池棟上屋耐震補強の実施と耐震診断結果により、浄水施設の耐震化率を100%に見直しました。



## 4. 投資・財政計画

◎主な改定項目

- (1) 計画期間の投資内容 「財政計画」、「水道施設更新計画」、「水道施設耐震化計画」の各種計画に基づいた内容に見直しを実施しました。また、これらの計画に含まれる施設規模の縮小や、メンテナンス方法の変更による削減効果の見直しを実施しました。

	前期（令和8年度～令和12年度）	後期（令和13年度～令和17年度）
概算事業費	1,205,983千円	概算事業費 1,438,323千円
削減見込み	390,782千円	削減見込み 252,357千円

- (2) 資金残額の見直し 計画期間末の資金残高の見直しを実施しました。（3億2千万円 → 2億8千万円）

